

會津八一

折って広がる

# 美の世界

— 屏風・折帖・扇子を中心に —

2022  
12/20 (Tue)  
↓  
2023  
3/26 (Sun)

〔会場〕 新潟市會津八一記念館

〔開館時間〕 10時～18時(17時30分まで受付)

〔休館日〕 月曜日(ただし祝日の場合は翌日)、冬季休館(12月28日～1月3日)

〔入館料〕 一般500円、大学生300円、

高校生200円、小・中学生100円

※団体20名様以上2割引、土日祝日は小・中学生無料

〔主催〕 新潟市會津八一記念館

〔共催〕 新潟日報社

〔後援〕 BSN新潟放送

〔協力企業〕 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

同時開催

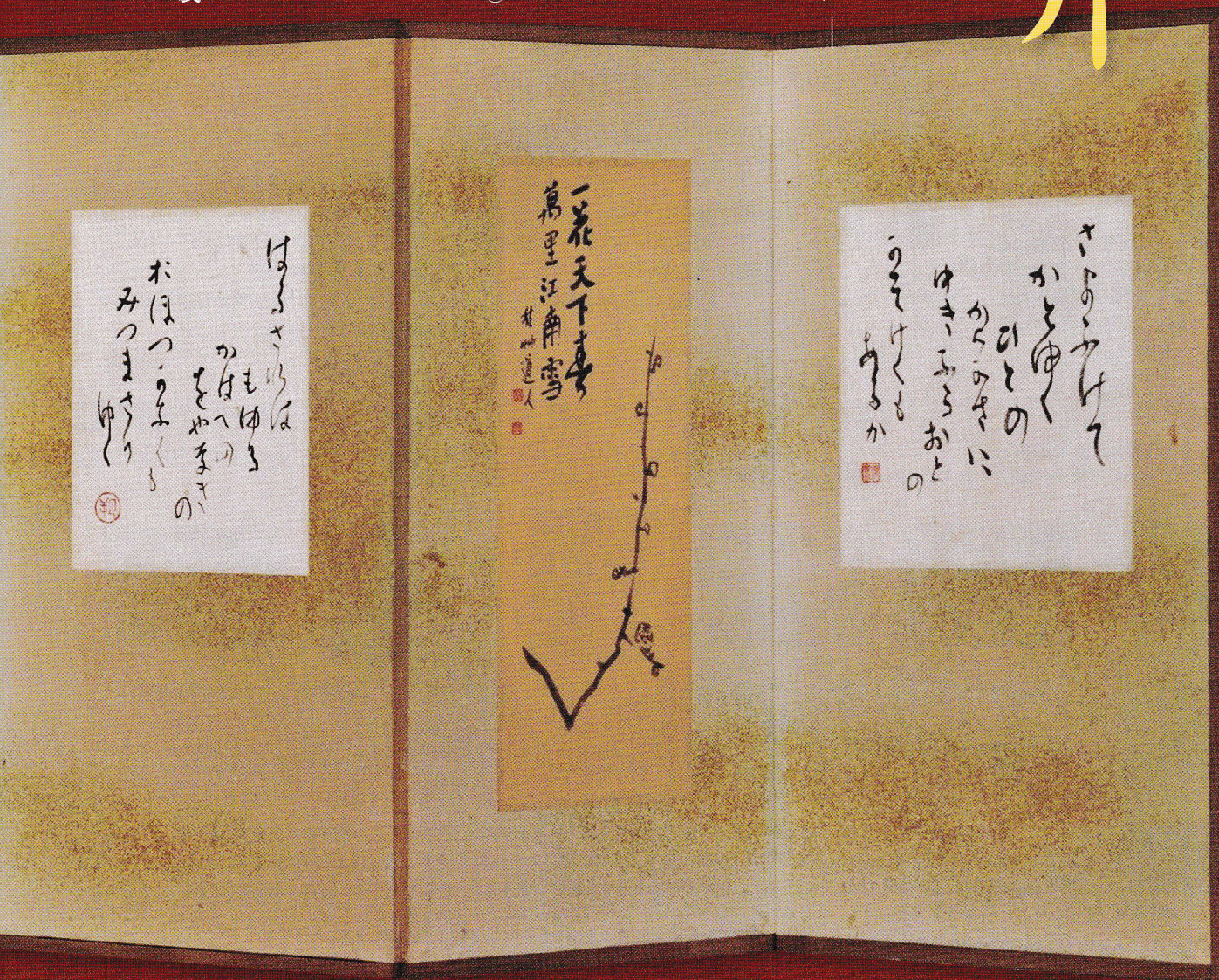


〔第16回〕會津八一の歌を映す  
写真コンテスト入賞入選作品展

(第16回秋神楽入賞受賞作品)

佐藤俊男氏(新潟県柏崎市)

「天地にわれひとりみて 立つとき  
このさびしさを 君はほほ笑む」



會津八一書画 貼り交せ六曲一又屏風 右隻部分 個人蔵(新潟市會津八一記念館寄託)



AIZU YAICHI  
MEMORIAL MUSEUM

新潟市會津八一記念館

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1  
新潟日報メディアシップ5F

TEL.025-282-7612(10:00~18:00) <https://aizuyaichi.or.jp>



入館割引券  
●本券を携帯して入館まで  
2割引きいたします  
●他の割引との併用不可  
2023.3.26まで有効

# 現

在、屏風などの書画作品は、一般的には芸術として見られていますが、元々は日常生活で実用的に利用されていたものです。その後、徐々に芸術性を持って鑑賞されるようになってきました。

屏風は部屋の仕切りや装飾に用いる調度品のひとつで、木枠に紙や絹を貼ったものを2枚、4枚、6枚などつなぎ合わせて折り畳めるようにしたものです。

折帖は、経典や習字の手本などを記した和紙を一定の幅に折り畳み、その前後に表紙をつけて読みやすくなった書物です。扇子は、煽<sup>あお</sup>いで風をおこすだけでなく、儀礼や芸能でも用いられています。このように、屏風、折帖、扇子は実用品であるとともに、一方では美的に装飾された工芸品ともいえるでしょう。いずれも折って畳める形式ですが、横に広げると折れた表面が展開され、大作となります。

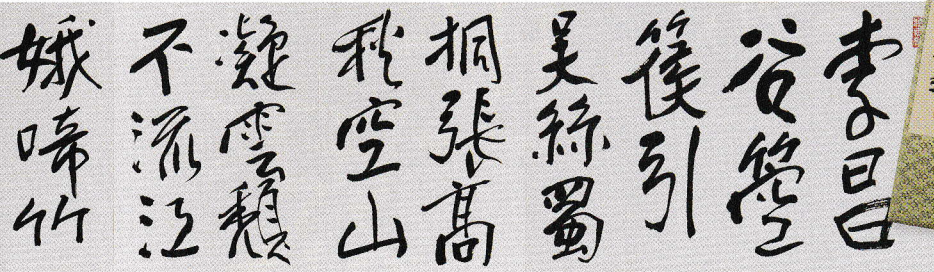
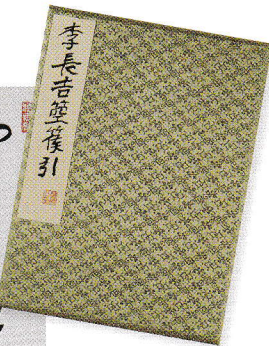


會津八一書・扇子  
《我思古人》  
(新収蔵・当館所蔵)



會津八一書・中田瑞穂画  
貼り交ぜ二曲屏風(当館所蔵)

折帖、扇子形式に仕立てた會津八一の書作品を中心に展示し、軸装や額作品のように一つの面で見せるものは異なる場面展開の魅力を紹介していきます。併せて会期中には、第16回秋艸道人賞「會津八一の歌を映す」写真コンテスト入賞入選作品も陳列いたします。



會津八一書・折帖《李長吉筌篋引》(当館所蔵)

## EVENT INFORMATION 関連イベント

### 1 | 文芸講演会 事前申込制 「日本の墨美と會津八一の書」

[講師] 古谷稔氏  
(東京国立博物館名誉館員)  
[日時] 2023年3月3日(金) 午後2時～3時半  
[会場] 日報ホール(新潟日報メディアシップ2階)  
[聴講料] 500円 [定員] 120名



### 2 | 野中吟雪館長による作品鑑賞会

[日時] 2023年2月26日(日)  
午後2時～約50分  
[会場] 当館展示室  
(申込不要/要当日観覧券)



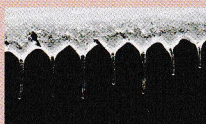
### 3 | 学芸員による作品解説会

[日時] 12/25(日)、1/8(日)、1/22(日)、  
2/5(日)、2/19(日)、3/12(日)、3/26(日)  
午前11時～約50分  
[会場] 当館展示室  
(申込不要/要当日観覧券)

※人数が多い場合、入場制限をさせていただく場合がございます。

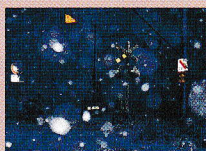
### 4 | 第16回 秋艸道人賞「會津八一の歌を映す」写真コンテスト入賞入選表彰式・公開講評会 事前申込制

[日時] 2023年2月12日(日) 午後2時～4時 [講評] 浅井慎平氏(写真家)、村尾誠一氏(東京外国語大学名誉教授)、若松保広氏(肖像写真家)を予定  
[会場] 新潟グランドホテル (〒951-8052 新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地) [定員] 80名 [聴講料] 無料 ※事前申し込みが必要です



〈新潟市長賞〉

「新しき」  
江部 勇氏  
(新潟市江南区)



〈胎内市長賞〉

「ひとりきて」  
風間 憲文氏  
(新潟県胎内市)



〈新潟日報社賞〉

「春来ぬと」  
杉野 秀一氏  
(新潟市中央区)



〈BSN賞〉

「水煙の」  
熊倉 勝氏  
(新潟県阿賀野市)



〈八栗寺わたつみ賞〉

「奈良坂の」  
佐藤 英朗氏  
(新潟市西区)



〈審査員特別賞〉

「いとのかきて」  
由村 喜美子氏  
(新潟市江南区)

## お申し込み方法

※イベント1と4の聴講をご希望される方は、往復はがきに参加を希望するイベント名と、住所、氏名、電話番号をお書きのうえ、會津八一記念館までお送りください。※ただし1通につき1イベント、1名様までのご応募といたします。定員に達し次第締め切ります。※新型コロナウイルス感染症の影響により、会期、関連イベントなどを変更または中止する場合があります。※ご来館の際はマスクをご着用ください。

期間中、本展覧会名を2人の書家による揮毫で展示室前に掲示しています。

- 12月20日～2月5日: 船久保栄苑先生(新潟県書道協会参事、南蒲原郡田上町)
- 2月7日～3月26日: 和田紫陽先生(新潟県書道協会参事、新潟市)



〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F  
TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614  
当館へはメディアシップのエレベーターをお使いください。(階段はございません)

◎交通のご案内 新潟駅から バス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港から タクシー約15分  
◎駐車場のご案内 メディアシップ駐車場(24時間営業) 第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分 税込)  
※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。

